

嘉麻市社協だより

No.164

発行日：2020.11.1

えがお



夕食弁当を手渡すことで365日安否の確認
～高齢者の在宅生活を支える配食サービス～


社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒821-0012 嘉麻市上山田502番地6

TEL 0948-43-3511 FAX 0948-43-3450

<http://kama.syakyo.com>

✉ info@kama.syakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>

コロナ禍は社会的に弱い立場にある方の存在を顕在化し、地域のつながりが困った時の助けに



新型コロナウイルスに対する治療法や予防薬が確立されていないなか、新しい生活様式や働き方が求められています。その一方で、旅行や観光、外食などに携わる旅館や飲食店を支援するため、GOTOトラベルやGOTOイートキャンペーンが始まり、都道府県をこえて人が行き来するようになりました。コロナとどう付き合っていくのか、経済を滞らせないようにし、安定した収入を得ることは、私たちが生活するうえで大きな課題となっています。

●生活福祉資金特例貸付の相談を受けて

3月3日から、市内の小中学校は臨時休校になり、仕事に行くことができなくなった保護者、外出自粛の影響により収入が減った観光業、建設関係や飲食店等の仕事に携わる方々から、生活費の相談が寄せられました。3月23日から、生活福祉資金特例貸付（総合支援資金、緊急小口資金）が始まり、本会では、9月末までに328人から相談を受け、240人延べ346件（緊急小口資金176名、総合支援資金150件、総合支援資金延長20件）の申し込み手続きをおこないました。

総合支援資金の延長手続きには、自立相談支援機関であるかま自立相談支援センター（以下「センター」という）の継続支援が要件化されました。センターでは、相談者と一緒に収支を見える化し、転職や就職を希望する方の支援を通して増収を目指すしたり、家計を圧迫している要因を探り支出を見直すなど、生活再建

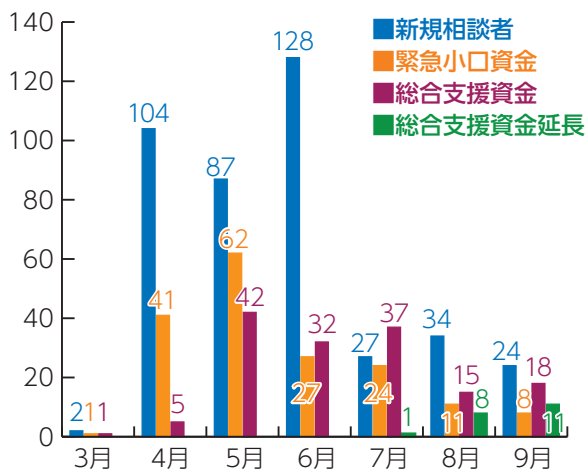
に向けた見通しを立てたうえで、延長手続きを進めています。

●厳しさが増すひとり親世帯

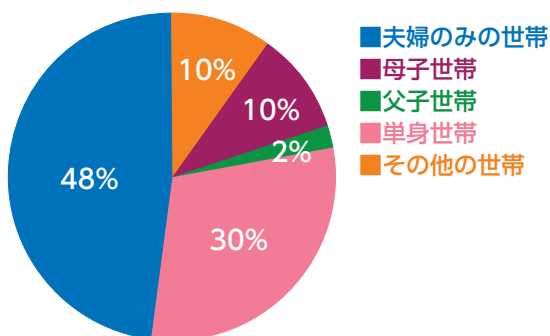
手続きをおこなった相談者の家族構成を見てみると、夫婦のみの世帯が33件、母子世帯36件、父子世帯8件、単身世帯103件、その他の世帯166件で、母子・父子世帯は全体の約12%でした。状況を伺うと、小学校が休校になったことで仕事に行く

ことができなくなった方、パート先が休業となって収入を得ることができなくなった方、ダブルワークやトリプルワークで仕事をかけ持ちしている方、様々な事情で親族に頼ることができない方、子どもの引きこもりや障がいによって悩んでいる方など、多くの方が生活費だけではなく複合的な課題を抱えておられました。

貸付の内訳



家族構成



●地域で暮らす

外国人の方にも…

外国人といっても、特別永住権や永住権を持つ人、技能実習生や留学生、結婚や離婚し日本で生活する人など様々です。テレビや新聞では、コロナ禍で解雇や雇止めにあい、故郷に帰る手段やお金がない外国人の困窮した様子が報道されました。また、2018年の出入国管理法改正以降、長時間労働やパワハラなどの人権侵害が相次ぎ、本来であれば技術や知識を学び母国に持ち帰ることが目的の技能実習制度が、安い労働力を確保する手段となっていることや留学生の名目で実際には労働者として受け入れる脱法的なビジネスがあることも知りました。



長く日本で生活する人は、住んでいる地域や職場でのネットワークがあり、言葉にも堪能で、制度や相談窓口の情報を得ることができず。本会でも、5人から相談を受けましたが、嘉麻市には外国人が約300人住んでいることから、非常に少ない印象を受けます。

来日22年のAさんは、日本学生支援機構で学費を借り入れ、息子の大学生活を支えています。息子は、県外でアパート暮らしをしています。息子がアルバイト先が休業したことでAさんが生活費を援助しなければならなくなりました。しかし、Aさんの職場もコロナの影響を受け、時間短縮営業となり減収したため、相談に至りました。相談窓口は同僚が教えてくれたそうです。

また、日本に来て数年たつBさんは、子どもが病気やけがをして仕事を休んだため、生活費が不足し困った際、どこに相談したらよいのかわからなかったそうです。働く親であれば必ず経験することですが、家庭内のことであるため、声を上げるまで気づいてもらえませんでした。

二人の話を聞き、外国人を単なる労働者としてみるのではなく、共に地域で暮らす仲間として接することで、困りごとに気づき、相談できる関係を築いていくことができるのではないかと感じました。

●コロナの相談を通して感じたこと

相談者の中には、もともと家計がギリギリの状態で、突発的なことに対応できない人が多くおられました。生活福祉資金は、給付型ではないため、全ての資金で上限額を借りた方は、約7カ月間で140万円もの債務を負ったことになり、生活に必要なため、やむを得ないとは思いますが、償還がスタートする1年後が、どのような社会情勢になっているのかわからないため、大きな負担となることも予想されます。

相談件数は、5月をピークに減少していますが、今も困っている人がいることから、生活福祉資金特別貸付は、12月まで延長されました。一時凌ぎの貸付で相談を終えるのではなく、相談者と一緒に目標を立てそれに向かってあゆむ、丁寧なサポートを心がけたいと思います。

成年後見

Q & A

Q

成年被後見人が死亡した場合、成年後見人がすべきことは何ですか？

A

成年被後見人が死亡すると、成年後見の関係は終了し、後見人は代理する権利を失うため、死亡診断書または本人死亡の記載のある戸籍謄本を取り寄せ、家庭裁判所に提出しなければなりません。後見人には2カ月以内に後見期間中の収支の計算をし、被後見人の財産を確定させる「管理計算義務」、その財産を相続人に引き継ぐ「引き継ぎ義務」、生前にかかった医療費や公共料金等の支払い、遺体の引き取り・火葬など、急を要する事情があれば対応する「応急処置義務」の3つの義務が生じるので、これをおこなう必要があります。相続人に引き継ぐ財産は、すべての清算を終了した後になりますので、支払い終了後、家庭裁判所に報酬付与の申し立てをおこない、報酬を受け取った後に引き継ぎをおこなうこととなります。



避難所運営を通して見えたこと

鴨生第二自主防災会



鴨生第二行政区では、令和2年9月に発生した台風10号に備えて、鴨生第二自主防災会のみなさんを中心に、公民館を開放して自主避難所運営をしました。そのため今回は、同会代表で鴨生第二行政区長の飯田千鶴美さん、自主防災組織役員さんに実際に運営をして感じたことを伺いました。

鴨生第二自主防災会では、定期的に災害を想定した炊き出し訓練や防災関係施設への訪問や研修をおこない、みなさんの防災意識を高めています。また、今年度は行政区内の危険箇所や災害時に避難の声かけが必要な方を訪問してマップづくりを考えていましたが、コロナ禍の中でなかなか実行することができず、もどかしさを感じていました。

台風や大雨時には、毎回声かけをおこなっていますが、今回の台風10号は、メディアでも過去最大級と連日報道されたため、前日から、ひとり暮らしの高齢者に電話連絡をして、避難の確認をし、公民館に10世帯12名の方が自主避難されました。

運営をするにあたって、前もって市役所の担当課と綿密に打ち合わせをおこない、新型コロナウイルスの感染拡大防止についても万全の準備をしました。また、介護が必要な方は、トイレ近くにスペースを確保するなどの配慮をし、丁寧な避難所運営を心がけました。しかし、自主避難の際に食料や毛布などを自分で持つてくることガルールですが、持つてくるのができなかつた方もいました。公民館にある物資も限られているため、平常時から、自主避難の際に必要な物を行政区のみなさんに伝えていかなければならないという課題も見えてきました。

最後に、飯田区長は、「コロナ禍が終息したら、避難訓練や炊き出し訓練、視察、見守り活動を再開し、自主防災組織のメンバーだけではなく、行政区全ての人たちにも防災意識をもってもらえるようにしたいと思います」と力強く話されました。

日頃から地域をまわって思うこと

隣近所のつながりの大切さを思う



毎月1回、公民館で碓井地区の様々な課題を話し合う協議体(名称を嘉麻い隊うすいという)を開催し、行政区長や民生委員児童委員など、地域の方々が集っています。7月の協議体に参加された一人の方が、高齢の女性が自宅近くで転んで駆けつけた時の話をされました。幸い救急車を呼ぶようなことはなかったそうですが、家族の連絡先やかかりつけの病院等が分からず、戸惑ってしまったそうです。その話を聞いた参加者からも「家族の連絡先や健康保険証などを分かるようにしておくこと」についての話が出ました。

そこで、協議体に参加されている民生委員児童委員の一人である堀内修三さんに「日ごろ地域をまわって思っていることなどについて話を伺いました。」

堀内さんは、平成30年6月から民生委員児童委員をされています。地域をまわる中で、一人暮らしの高齢者が多いことに気づき、災害時や

救急搬送など緊急時の対応をきちんと考えておく必要があると思うようになったそうです。緊急連絡先を尋ねると、遠方に住んでいる家族が多く、いざという時にすぐに駆け付けるのは難しいことがわかりました。高齢者宅の訪問を重ねると、日頃から声をかけあう様子が目にとまり、その関係をいかすことができなにかと考えたそうです。例えば、Aさんの隣に住むBさんが、Aさんの異変に気づいた時には、緊急時の対応をとってもらおうということです。地域をまわる中でこのような関係を広げるため、声をかけています。今では、AさんとBさんのようなご近所同士の支えあいの関係が増えてきているそうです。

堀内さんは「地域をまわる中で、隣近所のつながりの大切さを再確認しました。近年、嘉麻市でも災害が起きているため、災害時の高齢者等の避難についても考えていきたいと思います。」と話されました。

新しい縁を感じる喜び

下宮老人クラブいきいきサロン

下宮老人クラブでは、高齢者が地域で元気に過ごすことや社会貢献の機会をつくることを目的に、年に数回、地域の草取りや花植えをおこなっています。およそ20名の会員がおられますが、体調がすぐれなかったり、仕事をしていることから、なかなか集まることができないのが現状です。そこで、会長の仲道正行^{なかつらまさゆき}さんは、気軽に楽しく集える場をつくりたいと思い、令和元年6月にふれあい・いきいきサロン「下宮老人クラブいきいきサロン」を立ち上げました。

現在は70～90歳代の8名前後の高齢者が集い、高齢者介護課や嘉麻赤十字病院、本会の出前講座を通じて、病気や暮らしのことを学んでいます。参加者の健康意識は高まり、体操や散歩を始めた方もおられ、効果を感ずる一方で、メンバーが固定化され、新しい仲間が増えないとの悩みが出てきました。

そこで、妻の美代子^{みよこ}さんと高齢者世帯を訪問し、季節のメッセージを添えた案内状を配ることにしました。



「膝が痛いので迷惑をかけたくない」「人の輪の中に入るの不安」と消極的な意見が多く、サロンに参加することを押し付けているのではないだろうか、訪問は迷惑なのだろうかと不安に思うこともあったそうです。それでも続けていくうちに、「声をかけてもらえるのは嬉しい」「退職したら参加したいから、頑張って続けてね」と、言葉をかけてもらったり、サロンには参加できなくても、会計係を引き受けてくれた方もおられ、地域のみなさんがサロンを応援してくれていると実感できるようになりました。

美代子さんは「サロンを立ち上げたことで、今まであまり話したことがなかった方と会話することができ、新たなご縁を紡ぐことができた。今は老人会のみなさんのおかげでサロンを運営できていると感じています」と話されました。

防災の意識を高めよう

貞月行政区自主防災組織

旧嘉穂町にある貞月行政区は約40世帯が暮らしています。南には遠賀川が流れ、田畑が広がり、農業用の水路が多くあります。近年の豪雨により、一人暮らしのAさん(80代)は、庭に水が溜まり、非常に戸惑われたそうです。そこで、行政区長の縄田洋明^{なわたひろあき}さんは区民と話し合い、男女共同参画の視点を取り入れ役員に半数の女性を選出し、昨年5月28日に自主防災組織を発足しました。

昨年10月には、大雨洪水警報や土砂災害特別警報と市から発令される警戒レベル3の避難準備・高齢者等避難開始、警戒レベル4の全員避難を想定して防災訓練をおこないました。避難誘導班である各隣組長が「〇〇さん、大雨だよ、一緒に避難するよ」と声をかけ、避難所へ移動し、道中は、浸水しやすい場所を確認しながら歩きました。その他に、救出消火班、情報収集班、避難所運営班、手当介助班、炊き出し班に分かれ、それぞれの役割を確認しました。

9月には、台風10号が最接近する



と予測された2日前に、公民館に災害対策本部を設置しました。全戸を訪問して、みなさんがどこに避難するのかを確認し、市の指定避難所である嘉穂総合体育館に1名が避難したそうです。当日は役員数名が地域を巡回し、被害状況等を確認しましたが、幸い被害はありませんでした。縄田さんは「昨年の訓練が活かされ、慌てることなく行動できた。自主防災組織を立ち上げたことで、地域の絆が深まったと思う。コロナ禍で感染予防対策など難しいところもあるが、災害はいつ起るか分からない。区全体で防災の意識を高めて、早め早めの対策を講じられるように取り組んでいきたい」と話されました。

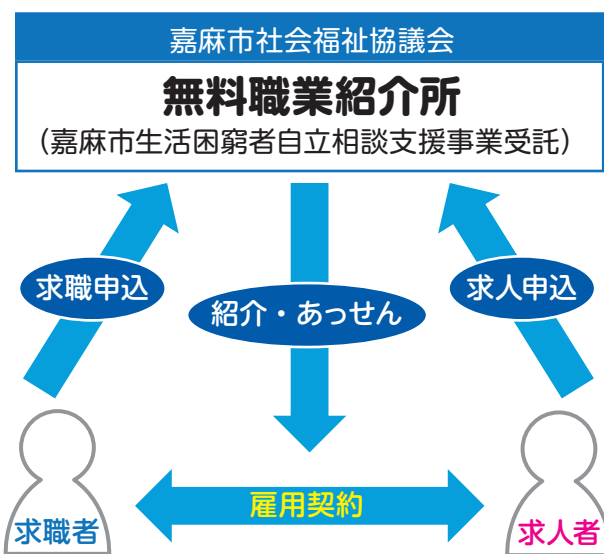




働きたい・雇いたいを応援します 無料職業紹介所をご利用ください



かま自立相談支援センターでは、経済的な困窮だけではなく、生活上の様々な困りごとの相談を幅広くお受けしています。そのなかで、一人ひとりにあった仕事や働き方を見つけるため、無料職業紹介所の許可を得て、ハローワークやフリーペーパーの求人情報を提供するにとどまらず、相談者の希望に則した求人事業所の開拓をおこなっています。また、いろいろな事情で働いた経験の少ない方などに対しては、ワンポイントジョブ事業を始めました。社会に少しでも参加することをつうじて、自分らしく生活できるようになればと考えています。



求職者の皆様へ…

当紹介所に求職申し込みができるのは、生活困窮者自立相談支援事業の対象者で、就職を希望する方です。

- 当紹介所は、単に求人情報を提供するだけではなく、就職相談や応募書類の作成、模擬面接など就職につながるまで、きめ細やかな支援をします。
- 一般就労だけではなく福祉就労等も含めて、希望に沿った適職を一緒に探します。

事業主（求人者）の皆様へ…

- 当紹介所では、求職者が持っている知識や職務経歴等をじっくり伺ったうえで、求職者が求めている人材を的確に紹介します。
- ハローワークに求人票を出さないで求人したい場合にも、ご利用ください。
- いただいた求人は、当紹介所の求職登録者に公開します。

開所日・時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始は除く）
午前8時30分～午後5時まで

場所：嘉麻市上山田502番地6 山田ふれあいハウス
問い合わせ：嘉麻市社会福祉協議会無料職業紹介所
（かま自立相談支援センター内）

TEL：0948-43-4751 FAX：0948-43-4761

求人情報

フルタイム求人

麻生介護サービス株式会社

- ・介護支援専門員
- ・管理者候補（訪問入浴介護）
- ・訪問入浴介護職員
- ・介護職員
- ・サービス提供責任者

サンコーケアライフ株式会社

- 介護付き有料老人ホームライフステイなつき
- ・調理師
 - ・調理補助
 - ・介護職

パート求人

麻生介護サービス株式会社

- ・介護職員
- ・看護師（訪問入浴）



サンコーケアライフ株式会社

- 介護付き有料老人ホームライフステイなつき
- ・調理師
 - ・調理補助

- 医療法人 新緑会
愛恵医院 通所リハビリテーション
- ・介護職員

- 社会福祉法人 嘉穂の里
さくら学園
- ・給食スタッフ

- ほっともっと上山田店
- ・調理全般

悩みを解消

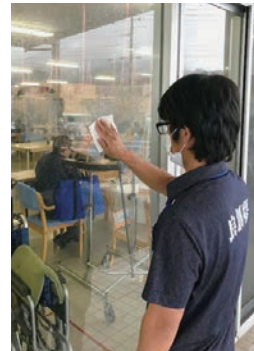
～おっくうな大掃除、負担を軽減～



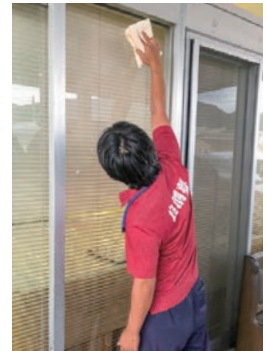
今年も残すところあと2カ月となりました。年末にしなければならないことといえば大掃除。日本特有のこの文化は平安時代のスス払いからきているそうです。

掃除の動作には、関節や筋肉に負担がかかり、痛みを伴うことが多々あります。上手に体を使うことで、無理なく掃除ができるように、良創夢デイサービスセンター嘉麻店の管理者で作業療法士の手嶋雄太さんに、寄稿してもらいました。

痛みやすい体の部位としては、肩や腰が多いのではないのでしょうか。これは、急激に荷重(重さ)がかかる事と関節の動きが激しくなる事が考えられます。では、肩の痛みが出ないように回避すればよいのでしょうか。窓ふきの姿勢を見てみます。普段動かさないような大きな肩の角度で動かしていることが多いのではないのでしょうか。急にこのような角度の動作をおこなうと痛みが出やすくなります。ゆっくりと背伸びの姿勢をおこなってから、掃除を始めてください。また、足やお腹を意識しておこなうことで自然と体全体の筋肉を使いますので、肩や肘の負担も軽減されます。



○ 良い例



× 悪い例

腰はどのように負担を少なくすればよいのでしょうか。それは、屈みの姿勢で腰以外の筋肉や関節を使うことです。床の荷物を持ち上げるときなどは、おへそ周りの筋肉に力を入れ、足を少し開き、ゆっくりと膝を曲げて腰を落とします。荷物を体に近づけて顔を落とさず足の力で持ち上げます。これだけで腰の負担は軽減されます。窓の下側やサッシの溝掃除でもこの動きは役立ちます。



○ 良い例



× 悪い例

このように大掃除は全身の筋肉や関節を使って1ヶ所に負担をかけない姿勢が重要になります。普段より体全身に意識を向ける習慣をつけていきましょう。また、年末に急に体を動かすのではなく、普段から運動をして体力をつけておく、1日1カ所掃除をおこなう、フローリングワイパーや便利グッズを使う等の工夫も必要です。

私たちが呼んでいる「リハビリの先生」には…

リハビリをおこなう病院や施設には、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士という資格を持った職員がいます。その役割や仕事内容をご紹介します。

理学療法士とは

起き上がる、立つ、歩くなど基本的な体の動作ができるように支援する仕事です。



作業療法士とは

トイレに行く、食事をするなど、応用的な生活の動作をできるように支援する仕事です。



言語聴覚士とは

言葉や飲み込みなど、口や耳などの訓練をする仕事です。



コロナ禍での災害ボランティア活動について訊きました

令和2年7月は、長期にわたり梅雨前線が停滞したことで、日本各地で集中豪雨が発生し、九州では熊本県の人吉市や球磨村などで甚大な被害があり、福岡県内でも久留米市や大牟田市などで土砂崩れや床上浸水などの被害が発生しました。

被災地ではコロナ禍での災害ボランティアセンターの運営を余儀なくされ、感染予防にも配慮が必要となりました。そこで、平成30年から2年間続けて、嘉麻市災害ボランティアセンターでボランティア活動に参加して下さった宗像市在住のSさんに、現地での活動の様子を教えてくださいました。

Q. どこで活動をされたのか、また活動の様子を教えてください。

A. 大牟田市の募集は、近隣の市や町に住む方に限定されており、久留米市は日程が合わず、活動に参加することができませんでした。そこで、ボランティア登録をしていたJA筑前あさくら主催の農業ボランティアに参加しました。今回は、7月の豪雨で柿園に土砂が流入していたため、その撤去をおこないました。

コロナウイルス感染防止のため、屋外の受付で検温し、体調チェックシートを提出しました。マスクを着用し、密にならないよう現地までは各自で移動しました。

Q. 活動するなかで、感じたことや気づいたことを教えてください。

A. 少ない人数で活動しなければならないため、作業効率を意識しました。被害にあわれた方は、水が引いた直後から片づけを始めておられ、日が経つにつれて疲労も大きくなります。私たちが何うと、ホッとした表情で迎えてくれます。少しでも、作業を進めたいと強く思いました。また、マスクを着用し作業するため、例年以上に熱中症に気をつけました。現場のリーダーには、一緒に活動するメンバーの体調把握や的確な指示などが求められます。社会福祉協議会には、ボランティアリーダーの育成やつながりづくりをしてほしいと感じました。

Sさんの話を聞いて

現在、本会の災害ボランティアセンター運営マニュアルは、感染拡大防止に対応したものにはなっていません。限られたスペースで三密を避けるには、動線を工夫し、受付やマッチングの方法も変えることが必要です。Sさんの話を参考に、早急にマニュアルを見直したいと思います。



大切な方のお送りにふさわしい空間をご用意しております。嘉麻市にて特別な生花祭壇のお送りや、直葬・家族葬・一般葬、大規模・小規模にかかわらず、様々な形式に対応できる葬祭専門ホールです。



嘉麻市下山田9-1
☎(0948)52-1212

指定葬祭場紹介
セレモニーホール
おおつか

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に6カ所あります。

かほ葬祭 あじさい会館
善光会館 稲築会場
おかむら葬祭 岡村会館

☎62-5566
☎83-5000
☎42-4420

飛鳥会館 南斎場
きど葬祭やまさ碓井斎場

☎52-1212
☎62-4499

法人運営 INFOMATION

第71回理事会

〈開催日〉令和2年9月17日(木)

- 【議案第223号】 令和2年度第二次補正予算について
- 【議案第224号】 職員就業規則の一部改正について
- 【議案第225号】 かまポランティア・市民活動センター運営委員会の委員選出について
- 【議案第226号】 第47回評議員会の開催について
- 【報告第66号】 理事補欠選任候補者について
- 【報告第67号】 地域福祉活動職員の採用について

第47回評議員会

〈開催日〉令和2年9月28日(月)

- 【議案第99号】 令和2年度第二次補正予算について
- 【議案第100号】 理事の補欠選任について
- 【報告第21号】 地域福祉活動職員の採用について

新理事の紹介

令和2年9月28日に開催された第47回評議員会において、新理事が選定されました。

任期:令和2年9月28日から令和2年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和3年6月開催予定)

※敬称省略

役職名	氏名	選出区分	所属団体
理事	末吉 進一	住民組織の代表的性格団体・組織	嘉麻市行政区長連合会

11月・12月・1月の総合相談

心配ごと相談



- 11月4日(水) 13時～15時 碓井地区公民館
- 11月11日(水) 13時～15時 山田ふれあいハウス
- 11月25日(水) 13時～15時 山田ふれあいハウス
- 12月2日(水) 13時～15時 碓井地区公民館
- 12月9日(水) 13時～15時 稲築地区公民館
- 12月23日(水) 13時～15時 稲築地区公民館
- 1月13日(水) 13時～15時 山田ふれあいハウス
- 1月27日(水) 13時～15時 山田ふれあいハウス

法律相談



- 11月5日(木) 13時～16時 稲築地区公民館
- 12月3日(木) 13時～16時 山田ふれあいハウス
- 1月7日(木) 13時～16時 稲築地区公民館

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止になる場合もありますので、お問い合わせください。

※法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早目にお申し込みください。※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止になる場合もありますので、お問い合わせください。

ご案内

在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換をつつじて、楽しくリフレッシュしています。

- 11月12日(木) 山田ふれあいハウスにて(上山田502番地6)
- 12月10日(木) 稲築地区公民館にて(岩崎1-14-1番地)
- 1月7日(木) 山田ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

嘉麻市認知症家族の会

認知症の方を介護しているご家族が集まり、お互いの体験や情報交換をしています。

- 11月18日(水)
 - 12月16日(水)
 - 1月20日(水) 山田ふれあいハウスにて(上山田502番地6)
- ※時間は13時30分～1時間程度です。

●ひきこもり家族の集い
ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩みを話したり、情報交換をしています。

●11月19日(木)
●12月17日(木)
●1月28日(木)
●フリースペース
家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特にプログラムはありません。

●11月5日(木)、12月(木)、19日(木)、26日(木)
●12月3日(木)、10日(木)、17日(木)、24日(木)
●1月7日(木)、14日(木)、21日(木)、28日(木)
※ひきこもり家族の集い、フリースペースの開催場所
寄ってこハウスにて(漆生878番地)

※時間は13時30分～15時30分までです。日時等が変更や休止になることもありますので、事前にご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、日時等が変更や中止になることもあります。事前にご連絡ください。お問い合わせ先
嘉麻市社会福祉協議会
0948-43-3511
Email:tki@kamasakyokyo.com

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

7月1日～9月30日受付分

【稲築才田】 稲築才田1組(5

〇)、稲築才田2組(5〇)、
稲築才田3組(5〇)、稲築
才田4組(5〇)

【山野第二】 赤坂秀一、辻田

篤志、辻田光之、永富健二、
森山博、山内龍一、赤坂友邦、
朝倉ツヤ子、安藤繁行、安藤
三津雄、緒方輝躬、熊谷香壽
美、熊谷萌、柴田利幸、野見
山篤、福光禎子、藤井治郎、
松田博文、松本茂利人、山下
正志、山本幸俊、桑野健次、
柴田英生、辻田茂、辻田房子、
鳥井和江、仲西朋子、松浦公
代、有田栄公、高木博志、西
田修、藤原哲資、石井直彦、
大塚秀樹、北富ツルミ、高松
トミ子、西田始、平野嘉代、
福光一男、福澤清隆、福澤ト
モ子、福澤秀久、本田貢、水
間徳子、山本千鶴、石川栄子、
伊藤和子、木村拓也、高木和
夫、辻田廣光、永富順子、永
富和代、永富信茂、福光法子、

水間浜子、山下豊子、梅井史
枝、江口典歳、角谷正美、金
澤平一、河村紀生、田坂勝信、
半田亮司、古江雅彦、平嶋豪、
松岡政明、満島憲幸、山本清
人、荒木哲也、有田公司、瓜
生佳津成、西田春美、坂本優
一、竹井テルコ、西田宏、西
田雅彦、早川秀一、原田敏子、
松岡憲治、石川國子、石川紀
子、石崎慶太、瓜生義晴、太
田札五郎、甲斐節子、熊谷國
夫、新原正信、田中泰廣、長
嶋正雄、中原千歳、西田笙子、
西田義弘、藤村節子、馬淵順
二、西田利幸、西田敏行、西
田安宏、赤間陽一、市村祐子、
大井千賀子、大井盛政、楠田
元徳、國米健司、永水悟、藤
春貴生、牧節子、安川明、山
内日出男、山本多喜夫、山野
第一26組(3〇)、赤坂好紀、
足立文昭、伊藤智洋、井上純
一、尾造伸二、鬼塚勝成、榎
野栄次、地頭所龍二、永水憲
一、末永剛、西堀サチ子、林
修次、東弘子、水脇さつき、
迎田進、山本修、大坪正明、
岡松浩子、小沼寛之、河野治
記、古賀正彦、坂本幸敏、田
中澄夫、辻田章、西田恵子、
西原正俊、水上里己、宮崎省
吾、山本喜久雄、吉田晃、渡
辺一夫、山野第一30組A(2
組)、越智輝幸、林康亮、麻
生昌彦、片岡晋、片岡眞弓、
青野廣太、金堀力ツ子、片峰

伸二、木下幸治、境茂俊、坂
口栄喜、坂田恵太、坂田直樹、
永田紀美代、永富正、野見山
勇雄、林雅幸、半田信博、樋
口誠、松岡央、三苦正、吉田徹
吉田裕二

【平第二】 平第一行政区1組
(2〇)、松本俊治、西田公一
郎、森山肇、永水寿徳、大山
松雄、永水泰典、西田明、西
田剛、田口正志、白土良一、
越智初、高田久志、松本明美、
馬田忠義、野村京子、永水政
子、平祥司、大山忠男、眞杉
チヅル、西田恒義、永水計親、
永水博、白土恵一、藤原光一、
永水正博、永水民生、永水幸
子、永水美法、永水雅史、西
田寛信、篠森鹿夫、西田義勝、
阿部敏子、西田俊夫、藤崎正
昭、西田穂次、小峠フサ工、
林トシ子、岡村勝子、西田静
野見山豆子、山下武利、藤田
義人、深見隆行、佐竹吉寛、
井上妙子、永水徳之、三浦孝
夫、松下泰子、森山夕ケ子、
西田典理、岸昌幸、西田宏喜、
米光紘樹、伊藤隆行、野田工
三子、永水成一

【平第二】 佐藤一美、松本三
枝子、大利友就、沖年幸、福
田敏幸、宮本敏夫、柿原幸枝、
川端マサコ、香月義一、大山
征男、山本康治、西村光昭、
清川栄、大利宗嗣、東川文子、
武田憲児、西坂勝正、桐原理
枝、宮内佐恵子、坂田公一、

西田安之助、西田雅範、岩崎
哲夫、山平由美、西田義明、
花田匡哉、駒山登志子、富山
澄等、辛島貴嗣、西野はつ江、
松熊夕ケ子、野川勝博、日田
キ又子、松岡俊秀、井下雄次、
松本信子、西村富士子、大園
節子、山室伸次、野口明美、
金国大介、伊藤英丞、嶋田浩
二、川根敬子、倉智康治、山
口末美、篠崎良輝、陶山茂、
中村朋子、砂浪喜信、竹川富
士松、松熊勇夫、大庭淑子、
田中裕士、今村久子、西田美
智子、今泉満代、地蔵原満、
三宅信義、島田鋼一、女鹿野
義文、田中瑞穂、渡辺美和子
井上貴寛、手島勝男、上村フ
ミ工

【宮地】 西川光義

【辻中籠】 高木かつみ、永水
修一、松岡勝利、永水敏光、
常藤文子、永水久喜、平田優
男、島田照子、稗田恭子、後
藤一雄、米原太輔、住吉ツル
工、曾我キヨ子、國武光成、
手島幸弘、小林隆良、永水米
蔵、中並龍夫、永水恭典、中
條凌一、永水元和、穴見英徳、
篠崎賢豪、緒方宏蔵、小林サ
ツキ、高木ふじ子、谷口久男、
小林道子、永水登美子、中並
隆、山本興司、山口和子、奥
園多美子、松岡幸夫、草場静
六、脇田洋、大山薩子、曾我忠
半田正市、築地原英起、千代
野一雄、花田光隆、大山時彦、

大山草、大山ハツ子、曾我秀
治、大山利美、水上信子、上
提政明、原部千代美、今宮博
美、松岡教知、藤崎カズ子、
瀧本貞子、坂田清文、手島松
子、田上義雄、常藤哲司、永
水清子、笹月清代香、田代英
子、大山フジ子、大山伸夫、
小林善之、永水秀一、有吉美
智代、松依建設(株)、中並尚康、
土谷勝典、山平浩一、川波照
代、田中文子、釜掘泰洋、熊
谷忠、藤本ミツ工、園部伴明

【平東】 平川勝利、佐伯照雄、
岩井モリ子、正池治、小淵清
美、中嶋シツ子、梶原信義、
松尾正則、橋本進、岩本紀子、
篠原千登勢、西田鉄也、酒井
ヒロ工、梶原清、鷺山誠、林
田政光、西まゆみ、藤田義輝、
飯田和代、堤勝、瀬戸山淳、
田中弘光、久保田範子、野田
信一郎、宇野泰司、山本重勝、
柴田義美、佐藤正、縄田進、
橋本和利、櫻井孝一、佐野圭
志、野口清司、角谷恵子、服
部光孝、金部綾子、山之内正
人、中野智子、島田照夫、三
木章瑚、梶正司、松隅安子、
柴田夏江、梅野久子、末武勲

【銭代坊】 久保睦子

【木城】 中富夕ケ子

【蛭子】 水野清勝

【飯田】 匿名

【下牛隈】 藤川隆俊

【市外】 新開泰博、吉村留美

No.164

ふるさとへの
手紙大阪府在住
しづや ゆうじ
渋谷 裕司さん
旧山田市出身「らしさを
守りながら、次へ」

私の出身は、旧山田市で、今から約35年前まで生活をしていました。そのころの山田市は、炭鉱跡地という事でボタ山が数多く点在し、のどかな風景が広がっていました。

4つの小学校、2つの中学校があり、私が中3の時に新しい校舎を建て1つの中学校になりました。その後、順次、小学校の建替え等も進み、少しずつ風景も変わってきたように感じています。その他にも私が気づいていない事も多くあり、変わっていく事に対して、少し寂しい気持ちになる事もありました。

それからの私は、関東で7年程暮らし、今は大阪で生活をしています。自動車会社に勤めな

がら、知り合いを増やし、概ね自由にやってきましたが、半面、自己責任の元、周りの方々に迷惑をかけない様に心がけています。しかしながら、今年は新型コロナウイルスの影響で、今までにない環境となり、初めての経験を重ねているところです。

これまでの会社は、出張したり、会議の為に多くの人が会議室に集まって、仕事をおこなっていました。それがいきなり、原則、社外出張が禁止になり、会議もWEBとなり、朝礼等の集いもなくになりました。それでも生産性が悪いながらも、一定の成果に結びつけ、この新しい働き方でも成果が出せる事がわかってきました。コロナ後も、新しい働き方を取り入れ、更に進化した形で、仕事をしていくものと考えています。

今後は、どこにいても仕事ができる環境となり、会社のある近い場所に居る必要はなくなり、このように、会社、仕事の在り方、生活環境が大きく変わる事が想定されます。そんな中で、嘉麻市も大きなチャンスとなります。

これまで守ってきた『らしさ』を大切にしながら、共に次になげましましょう。

新規採用
職員紹介やすたけ ゆうや
安武裕也

10月1日付けで、入職いたしました安武裕也です。まだ右も左も分からない状態ですが、事業を通して多くの地域のみなさまと出会い、つながりを作る事ができればと思います。これから一つひとつ経験を重ね、嘉麻市社協の一員として成長し頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記



おがわ

ウイルスや細菌で生活が一変する世界は、都市伝説のような空想の出来事だと思っています。この困難な状況は、経済的に切迫した方や地域との関係が希薄な方の存在を浮き彫りにしました。



うちだ

嘉麻市では、自主防災組織が14組発足しています。貞月行政区や鴨生第二行政区のように、地域で防災への意識が高まり、災害への取り組みが広がっていただければいいと思います。



やました

約1年ぶりに嘉麻市で災害ボランティアとして活動してくださった方々と話をする機会がありました。「今後、嘉麻市で災害があった時には協力をします」とみなさんに言ってもらい、人と人のつながりの大切さを改めて実感しました。



のみやま

下宮老人クラブいきいきサロンの取材では、案内状を配る仲道さんに同行しました。最近あった出来事や昔話をいきいきとした表情で話すみなさんの様子が印象的でした。

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)を2名の方にプレゼントします。

問題

P6に登場する紹介所は、求人者と求職者との雇用契約の成立をあっせんしています。なんとという名称でしょうか？

(1) 無料職業紹介所 (2) 有料職業紹介所 (3) 無料職業相談所

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、令和3年1月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先

〒821-0012 嘉麻市上山田502番地6 嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

前号の
クイズの答え

(3) 34カ所
現在、ふれあい・いきいきサロンは34カ所運営されています。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・楽しく、考えさせられながら読んでいます。特に2ページの野良猫の活動が心に残りました。機会があれば協力したいです

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。